

試合番号 : 131		試合会場 : 松本市総合体育館				観客数 : 610		
開始時間 : 19:30		終了時間 : 20:51		試合時間 : 01:21		主審 : 澤 達大		
副審 : 沢田 元		通算		0 勝 7 敗		ポイント : 0		
監督コメント	このコロナ禍の中、大会の開催にご協力をいただいている全ての皆様へ厚く御礼申し上げます。 開幕戦以来、またホームタウン松本市に戻って来て、力及ばず勝利することができませんでした。 今日出た課題を修正し、明日の試合に向けて準備します。 明日も応援よろしくお願いします。		0	17	第1セット	25	3	ウルフドッグス名古屋 通算 6 勝 1 敗 ポイント : 17 紅葉の季節となり、自然の美しいここ松本市で試合が行われたことを大変うれしく思います。 相手のチームのエネルギーあふれるディフェンスに対して、我々も負けじとボールを最後まで追いかけることで、激しいラリーの攻防を繰り広げることができました。 これからの時間を有効に活用し、明日に向けてよい準備をしたいと思えます。 感染対策をし、会場にかけつけていただいた我々ウルフドッグス名古屋のファンの皆さま、メディアを通して応援していただいたファンの皆さま、本当に感謝しております。これからも末永くよろしくお祈いします。 Unite as one!
				17	第2セット	25		
				13	第3セット	25		
					第4セット			
					第5セット			
要約レポート ホームで初勝利を飾りたいVC長野トライデントと4連勝中と勢いに乗るウルフドッグス名古屋の一戦。 第1セット、序盤からWD名古屋はクレク、高梨のバックアタックと山崎、クレクの連続ブロックなどで得点を重ねていく。VC長野も戸倉、笠利のスパイクや森崎のブロックで追いつがる。終盤、WD名古屋は高梨の連続スパイクポイントや傳田、永露の連続ブロックポイントでVC長野を突き放し、セットを先取る。 第2セット、序盤からWD名古屋は傳田のブロックやクレクのバックアタックで点差を広げていく。VC長野は森崎のブロックポイントや池田(颯)、戸倉のスパイクで反撃する。中盤、選手交代で流れを引き寄せたいVC長野は、須貝、池田(幸)がスパイクを決めるも、WD名古屋の勢いを止められず、最後はWD名古屋・山崎のクイックスパイクが決まりセットを連取する。 第3セット、後のないVC長野はメンバーを入れ替えて挑む。勢いのあるWD名古屋は序盤から山崎とクレクの2本のサービスエースや高梨のスパイクで点差を広げていく。流れをつかみたいVC長野は池田(幸)のスパイクや波佐間のリクイックで反撃するが、勢いの止まらないWD名古屋は山崎、神谷のスパイクなどで点数を重ね、最後は高梨がブロックを決め、勢いに勝るWD名古屋がこの試合をものにした。								

試合番号 : 132		試合会場 : 昭和電工武道スポーツセンター (大分県立武道スポーツセンター)				観客数 : 782		
開始時間 : 19:00		終了時間 : 20:21		試合時間 : 01:21		主審 : 林 淳一		
副審 : 平田 敬基		通算		1 勝 6 敗		ポイント : 3		
監督コメント	まず大分で開幕できたことに大変嬉しく思います。 今日のゲーム序盤からFC東京のサーブのプレッシャーに押され、自分たちの試合をすることができませんでした。 良くなかった点をしっかり反省して明日の戦いに備えます。 サポートしていただいた方々に心より感謝いたします。明日も引き続き応援をお願いいたします。		0	17	第1セット	25	3	FC東京 通算 1 勝 6 敗 ポイント : 6 選手たちが高い集中力を持ってゲームに入ったことで、簡単ではありましたが、2セット先取することができました。 第3セットは若干のミスがあり、難しい状況ではありましたが、チーム全員で乗り越えることができ、今シーズン初勝利をおさめることができました。 明日は更に難しい試合となり、今日とは違う展開となるとありますが、万全の準備をして試合に臨みます。 素晴らしい環境で試合をさせていただき、ありがとうございました。明日も引き続き応援よろしくお願いします。
				18	第2セット	25		
				22	第3セット	25		
					第4セット			
					第5セット			
要約レポート 地元大分で勝利し2勝目をあげたい大分三好ヴァイセアドラーと敵地で白星を掴みたいFC東京との戦い。 第1セット、大分三好はバグナス、エメルソン、山田、FC東京はクヴァーレン、エスベホを中心に中盤までシーソーゲームとなった。終盤、大分三好エメルソンのバックアタックをFC東京エスベホが連続でブロックし流れを掴むと、FC東京がセットを先取した。 第2セット序盤、大分三好は古賀、山田を中心に攻撃し、FC東京はクヴァーレン、エスベホを中心に応戦する。試合終盤、大分三好はアタックミスが響き、FC東京がセットを連取した。 第3セット序盤から、FC東京は長友の連続ブロックが決まり引き離しにかかる。大分三好は古賀、山田を中心に応戦し終盤で追いつくが、最後はFC東京の武藤のブロックが決まり、万事休す。 FC東京は7戦目にして敵地での嬉しい初勝利。大分三好は大分でのホームゲーム初戦を飾れず悔しい敗戦となった。								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		- 勝 - 敗		ポイント : -	
監督コメント				第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		- 勝 - 敗		ポイント : -	
監督コメント				第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							